

研究課題名	OHAT-J と TMT を用いた口腔フレイル評価と脳梗塞患者の転帰との関連についての検討
倫理委員会承認番号	202608
当院の研究責任者(所属)	志賀 裕二 (脳神経内科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	脳梗塞患者では低栄養やサルコペニアに加え、口腔機能の低下が転帰に影響することが報告されているが、急性期における口腔内環境と側頭筋厚 (Temporary Muscle Thickness : TMT) を組み合わせて検討した報告は少ない。本研究では Oral Health Assessment Tool 日本語版 (OHAT-J) による口腔内環境評価と MRI による TMT が急性期脳梗塞患者の転帰と関連するかを検討した。また脳梗塞病型毎の違いについて検討した。
調査データの該当期間	2025年1月1日 ～ 2025年12月31日
研究の方法 (対象となる方)	発症前mRS $\leq$ 3、入院時および入院7日目に口腔内環境を評価、入院時のMRIにおいてTMTを評価した患者において、脳梗塞転帰との相関があるかどうかを解析する。また脳梗塞の病型毎での違いについて解析する。
研究の方法 (使用する情報)	口腔内環境は Oral Health Assessment Tool 日本語版 (OHAT-J)、入院時の口腔フレイルは TMT を用いて評価を行った。入院時と入院 7 日目に OHAT-J を評価、入院時の TMT、背景因子(年齢、性別、発症前 mRS、来院時 NIHSS など)、退院時 mRS などを比較する。
資料・情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	翠清会梶川病院 脳神経内科 志賀 裕二
備考	